



2026 年 8 月 14 日

各 位

会社名 株式会社ハンモック
代表者名 代表取締役社長 若山 大典
(コード番号：173A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 CFO 兼 管理本部長 富來 美穂子
(TEL. 03-5291-6135)

**配当方針の変更（配当性向の目標の設定と DOE 指標の新設、中間配当の導入）及び
配当予想の修正（増配）に関するお知らせ**

当社は、2026 年 8 月 14 日開催の取締役会において、配当方針の変更について下記のとおり決定いたしましたのでお知らせいたします。

また、今回の配当方針の変更に鑑み、2027 年 3 月期の配当予想について修正することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 配当方針の変更

(1) 変更の理由

当社は、配当は株主の皆様に対する利益還元手段として経営の重要課題であると認識し、配当方針につきましては、今後の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、継続的に配当を実施していくことを基本方針としております。

こうした中、AI 時代が到来し、当社においては、AI の台頭を追い風と捉え、当社の強みを進化させ、事業領域を拡大していく方針です。そのために、今後も継続的かつ積極的に事業投資を行い、成長を加速させてまいります。具体的には、IT 資産管理「AssetView」シリーズで培った強みを活かし、生成 AI のガバナンスの強化やセキュリティ人材の不足を背景に一段と高まる「AI によるセキュリティ対策の自動化、効率化」ニーズへの対応を行い、セキュリティ領域へと事業を拡大してまいります。また、「ホットプロファイル」に蓄積された名刺情報、商談履歴、企業データベースなどを始めとして、顧客の様々な企業データを蓄積する当社製品において、他社が容易に模倣し得ない独自データを AI により活用するという新ソリューションの創出に向けて開発投資を行ってまいります。

一方、当社はリカーリング型の収益構造に支えられた安定的な収益基盤と良好なキャッシ

キャッシュ・フロー創出力を有し、健全な財務基盤を維持しております。上記の成長投資を計画どおりに実行してもなお、株主還元を一層充実させる余力を有しているものと判断いたしました。

また、当社は資本効率の向上を経営上の重要な課題と位置づけております。成長投資を通じた収益力の向上と、株主還元の拡充による資本水準の適正化を両輪で進めることにより、ROEの改善を図り、資本コストを上回る収益性と中長期的な企業価値・株式価値の向上を実現してまいります。

以上を踏まえ、「成長のための事業投資」「株主還元の充実」「資本効率の向上」の三つを同時に追求していく当社の姿勢を明確にし、株主の皆様にとっての予見可能性を高めるため、配当方針を以下のとおり変更することといたしました。

利益水準の変動に左右されにくい安定的な株主還元を実現するため、配当性向の中長期的な目標を設定するとともに、新たにDOE（純資産配当率＝配当金総額／純資産）を配当の下限基準として導入いたします。

また、株主の皆様への利益還元の機会の一層の充実を図るため、剰余金の配当を中間配当と期末配当の年2回実施する方針といたします。なお、当社は、会社法第459条第1項に基づき、取締役会の決議により剰余金の配当をすることができる旨を定款に定めており、中間配当の基準日は毎年9月30日としております。

本方針のもと、利益成長の成果を適切に分配し、株主還元の一層の充実を図ってまいります。

（２）変更の内容

項目	内容
① 年間配当性向	中長期的に年間配当性向 50%を目指します。
② DOE（純資産配当率）	5%を下限とします。
③ 配当の回数	中間配当及び期末配当の年2回とします。

上記の変更により、以下のとおり配当方針が変更となります。

＜変更前＞

当社は、配当は株主に対する利益還元手段として経営の重要課題であると認識しております。配当政策につきましては、今後の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、継続的に配当を実施していくことを基本方針としております。

＜変更後＞

当社は、配当は株主に対する利益還元手段として経営の重要課題であると認識しております。配当政策につきましては、今後の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、継続的に配当を実施していくことを基本方針としております。

この基本方針のもと、配当の基準として、年間配当性向 50%を中長期的な目標とし、DOE（純資産配当率＝配当金総額／純資産）5%を下限としております。

また、配当は、中間配当と期末配当の年 2 回実施する方針といたします。

（３）適用の時期

2027 年 3 月期の配当より適用いたします。

2．配当予想の修正（増配）

（１）修正の内容

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
前 回 予 想 (2026 年 5 月 15 日公表)	0 円 00 銭	45 円 00 銭	45 円 00 銭
今 回 修 正 予 想	20 円 00 銭	45 円 00 銭	65 円 00 銭
当 期 実 績			
前 期 実 績 (2026 年 3 月期)	0 円 00 銭	40 円 00 銭	40 円 00 銭

（２）修正の理由

2027 年 3 月期からの配当方針変更に鑑み、2027 年 3 月期の配当予想につきましては、中間配当金を 1 株当たり 20 円とし、期末配当金は前回予想どおり 1 株当たり 45 円として、年間配当金を前回予想から 1 株当たり 20 円増配の 65 円に修正いたします。

以 上